



# ワールド シー ワールド 2009 実施報告書

**GW特別企画**

**体験しよう!**  
3日①~5日⑤

★ロープワーク教室&小型船舶免許情報コーナー  
10:00-16:00 会場:羊蹄丸船尾橋

★プレジャーボート操船体験教室  
11:30-13:00 14:00-16:00 会場:宗谷・羊蹄丸中間海域

★カヌー体験教室  
11:00-12:30 14:00-16:00 (2日②③) 会場:船の科学館 体験教室プール

**見学しよう!**

3日③ 13:00-14:00  
海上保安庁特殊救難隊による人命救助展示訓練  
会場:宗谷・羊蹄丸中間海域

4日④ 13:00-14:00  
監視庁による水難人命救助展示訓練  
会場:宗谷・羊蹄丸中間海域

5日⑤ 13:00-14:00  
東京消防庁による水難救助及び船舶火災消火展示訓練  
会場:宗谷・羊蹄丸中間海域

海の安全と防災について、楽しく学ぶチャンスがらっばい!!!

**ワールド シー ワールド**  
5月3日①~5日⑤  
船の科学館及び宗谷・羊蹄丸中間海域

海の男の  
ギャラリートーク  
14:00 (1日①)

3日③ 「練習帆船“日本丸”の操船方法」  
会場:船尾「海をわたる」コーナー  
元練習帆船「日本丸」船長の橋本進さんが、大型帆船が動く仕組みについて講話を交えて紹介します。

4日④ 「青函連絡船の恋み」  
会場:羊蹄丸ブリッジ  
北海道連絡船「輪島丸」船長の丸岡二郎氏が青函連絡船、オリンピックの火災被災などの経験を話します。

5日⑤ 「“宗谷”栄光と挫折」  
会場:“宗谷”土倉食堂  
元代官船長船長「宗谷」船長 三田啓樹さんが航海士に就いた数々のドラマを話します。

**主催 船の科学館**  
http://www.funokagakukan.or.jp/ 03-5500-1113

名 称	ワールド シー ワールド
開催趣旨	海難事故や港湾での船舶火災等を想定した水難人命救助等の展示訓練、プレジャーボート及びカヌー体験乗船、小型船舶情報の提供及びギャラリートーク等を通して、広く一般の人々に海での安全と防災の意識や海と船への興味と関心を高めることを目的として開催しました。
内 容	海上保安庁、警視庁、東京消防庁による水難人命救助及び船舶火災消火展示訓練のデモンストレーションをはじめとして、プレジャーボート及びカヌーの体験教室、小型船舶操縦免許情報コーナー及びギャラリートークなどの複数のイベントで構成しました。
開催場所	船の科学館及び周辺海域
期 間	平成21年5月3日～5日（3日間）
主 催	財団法人 日本海事科学振興財団「船の科学館」
後 援	東京都
協 力	海上保安庁 警視庁 東京消防庁 財団法人 日本海洋レジャー安全・振興協会 ※順不同
入館者数	8,145名

タイトル	開催場所	開催日		
		3	4	5
カヌー 体験乗船教室	体験教室プール	○	○	午前

イベント内容

カヌーの体験乗船を通して、海と船への興味と関心を喚起しました。

実施時間：11時～12時30分（3日除）

14時～16時

参加者数：236名（3日59名、4日106名、5日71名）



タイトル	開催場所	開催日		
		3	4	5
プレジャーボート 体験乗船教室	宗谷・羊蹄丸中間海域	○	○	午前

イベント内容

（財）日本海洋レジャー安全・振興協会の指導教官により、参加者が自らプレジャーボートを操船できる体験乗船教室を開催することにより船の特性の理解を促進いたしました。

実施時間：11時30分～13時 14時～16時

乗船者数：575名（3日190名、4日224名、5日161名）



タイトル	開催場所	開催日		
水難人命救助・船舶 火災消火展示訓練	羊蹄丸・宗谷中間海域	3	4	5
		○	○	○

イベント内容

地震や津波など自然災害をはじめとする、海や河川・湖沼などでの海難・水難救助に対応して活躍する、海上保安庁、警視庁、東京消防庁の救助のエキスパートたちの高度に鍛え上げられた水難人命救助や船舶火災消火展示訓練を紹介しました。

① 海上保安庁 水難人命救助展示訓練

(5月3日開催)

実施時間：13時～14時

観客数：650名

協力：海上保安庁 第三管区海上保安本部・特殊救難隊・東京海上保安部

<訓練内容>

I. 落水者救助

- ① “宗谷” からA (ライフジャケット未着用) が落水するのを見ていたボート上のB (ライフジャケット着用) が118番通報をし、救助に向かうがAを船上に引き揚げようとして転覆。Bが海面に残され、Aは船内に閉じ込められる。
- ② “宗谷”・“羊蹄丸” 間に展張されたロープから隊員Cがスライド降下し、Bを救助。
- ③ CL “いそぎく” に乗り組んだ隊員Dが転覆船内に侵入し、Aを救助。
- ④ CL “いそぎく” に隊員と要救助者を揚収し退場。

II. 座礁船からの孤立者救助

- ① 陸上より “羊蹄丸” へもやい銃を発射 (空砲)。
- ② “宗谷”・“羊蹄丸” 間に展張されたロープを隊員がチロリアン移動し、座礁船 “宗谷” に取り残された要救助者 (ダミー) をエバックハーネスにより “羊蹄丸” へ搬送。
- ③ 陸上・“羊蹄丸” 間に事前に展張し弛めておいたロープを、見学者の協力により展張。
- ④ 隊員2名がファーストロープ降下。



## ② 警視庁 水難人命救助展示訓練

(5月4日開催)

実施時間：13時～14時

観客数：500名

協力：警視庁 東京湾岸警察署・第二機動隊・第三機動隊・航空隊

### <訓練内容>

#### I. 舟艇紹介

警備艇“みやこどり”、“あさしお”、“しおかぜ”、“くろしお” “ふじ”

#### II. 落水者救助

- ① 機動隊員2名がヘリコプターから飛び込み、海面上の要救助者を確保。ホイスト降下してきた隊員により要救助者をヘリコプターへ揚収。
- ② “宗谷”から落水した2名をヘリコプターが上空より確認。ヘリからの情報により水上バイクが現場に急行、発炎筒を要救助者へ投下。陸上からは救命索発射銃を落水者へ向けて発射。進入してきた救助艇（ゴムボート）へそれぞれ落水者を揚収。海面上の潜水員を水上バイクに乗せ退場。

#### III. 座礁船からの孤立者救助

- ① 警備艇“くろしお”からレスキュー隊員がフットロックにより座礁船“羊蹄丸”へ進入し、1名を背負い救出により“くろしお”船上へ救助。別の1名（ダミー）は担架救出法により“くろしお”船上に収容。



### ③東京消防庁 水難人命救助及び船舶火災消火訓練

(5月5日開催)

実施時間：13時～14時

観客数：450名

協力：東京消防庁 大井消防署・臨港消防署・蒲田消防署  
・ハイパーレスキュー隊

#### <訓練内容>

##### I. 参加隊紹介

①臨港消防署消防艇、ハイパーレスキュー隊車両、赤バイ隊&イグラの紹介。

##### II. 落水者救助

①“宗谷”前から釣り人1名が落水し、出場命令を受けた水上スクーター“雷神号”と“しぶき”“はるみ”が進入し、ダイバーにより水上スクーターのライフスレッド上に救助し、退場。

##### III. 船舶火災消火

- ①“羊蹄丸”から出火し、船の科学館自衛消防隊が始動。
- ②陸上から“羊蹄丸”へ救命索発射銃を発射（空砲）。
- ③“羊蹄丸”からの落水者をダイバーにより“はるみ”甲板上へ揚収。
- ④“羊蹄丸”へ“はるみ”が接触し、ハイパー隊員により孤立者を座席懸垂により“はるみ”上に救出。
- ⑤ハイパー車両と“羊蹄丸”間に展張したロープから、担架により斜めロープブリッジ救出。

##### IV. 一斉放水

①大井消防隊、消防艇、はしご車、自衛消防隊により一斉放水して終了。



タイトル	開催場所	開催日		
		3	4	5
PRコーナー	本館玄関ホール等	○	○	○

イベント内容

① 海上保安庁 PRコーナー（5月3日）

実施時間：10時～15時  
 実施場所：本館玄関ホール  
 参加者数：2,000名

<展示内容>

1. 制服を着用しての記念撮影コーナー
2. うみまるくんとの記念撮影コーナー
3. 各種パンフレット配布コーナー
4. 南の島の貝殻博物館



② 警視庁PRコーナー（5月4日）

実施時間：10時～14時  
 実施場所：羊蹄丸棧橋  
 参加者数：1,000名

<展示内容>

1. 機動救助隊車、水難救助車の展示
2. 災害時救助活動パネルの展示



② 東京消防庁 PRコーナー（5月5日）

実施時間：10時～15時

実施場所：プール側玄関前

参加者数：1,500名

<展示内容>

1. はしご車の展示とバケットへの乗車
2. 地震が体験できる起震車コーナー
3. 電動ミニ消防車コーナー
4. 火災報知機等のコーナー



タイトル	開催場所	開催日		
小型船舶情報コーナー	羊蹄丸ボードデッキ	3	4	5
		○	○	午前

イベント内容

このコーナーでは、国土交通大臣より小型船舶操縦士試験機関の指定を受けている財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会が、免許取得、更新等の情報を分かりやすく紹介するとともに、親子を主な対象に「ロープワーク教室」を開催し、海や船への関心や興味を喚起しました。

実施時間：10時～16時

参加者数：632名（3日209名、4日246名、5日177名）



タイトル	開催場所	開催日		
		3	4	5
海の男の ギャラリートーク	本館、羊蹄丸、宗谷	○	○	○

イベント内容

このコーナーでは、当館ボランティアの方々による「海の男のギャラリートーク」を特別に開催いたしました。

開催時間：14時～14時45分

参加者数：118名（3日19名、4日68名、5日31名）

①帆船“日本丸”の操船方法

開催日：5月3日（日）

開催場所：本館6階展示場

講師：橋本 進（元練習帆船“日本丸”船長）



②青函連絡船のあゆみ

開催日：5月4日（月）

開催場所：羊蹄丸 ブリッジ

講師：西沢弘二（元青函連絡船“檜山丸”船長）



③“宗谷”栄光と挫折

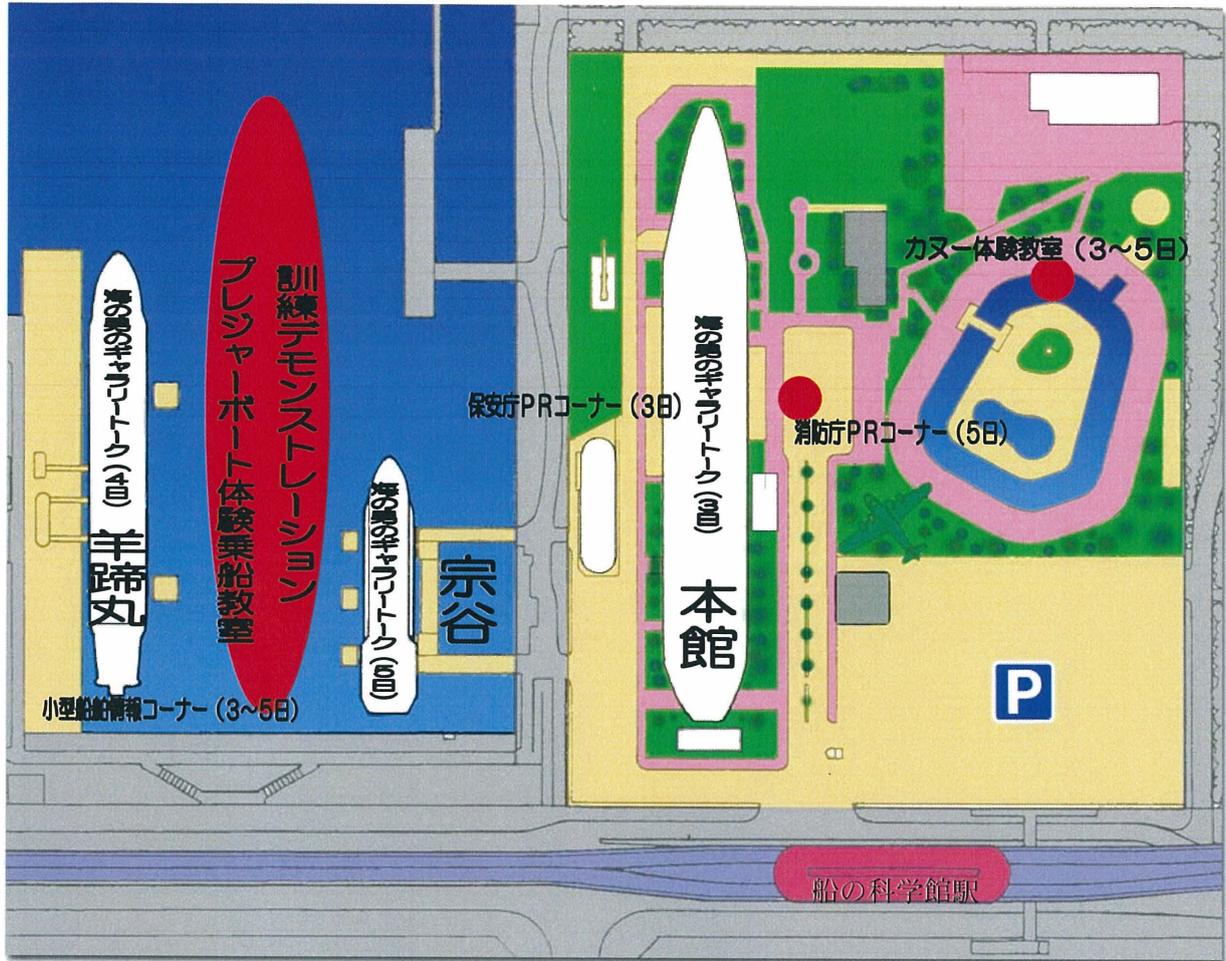
開催日：5月5日（火）

開催場所：宗谷 士官食堂

講師：三田安則（初代南極観測船“宗谷”乗組員）



イベント配置図



イベント参加人数

・海上保安庁特殊救難隊 人命救助展示訓練	6 5 0名
・海上保安庁PR コーナー	2, 0 0 0名
・警視庁 人命救助展示訓練	5 0 0名
・警視庁PR コーナー	1, 0 0 0名
・東京消防庁 水難救助及び船舶火災消火展示訓練	4 5 0名
・東京消防庁 PR コーナー	1, 5 0 0名
・プレジャーボート乗船体験教室	5 7 5名
(5月3日(日))	1 9 0名)
(5月4日(月))	2 2 4名)
(5月5日(火))	1 6 1名)
・小型船舶情報コーナー	6 3 2名
(5月3日(日))	2 0 9名)
(5月4日(月))	2 4 6名)
(5月5日(火))	1 7 7名)
・カヌー体験教室	2 3 6名
(5月3日(日))	5 9名)
(5月4日(月))	1 0 6名)
(5月5日(火))	7 1名)
・海の男のギャラリートーク	1 1 8名
(5月3日(日))	1 9名)
(5月4日(月))	6 8名)
(5月5日(火))	3 1名)
合計参加者数(延べ人数)	7, 6 6 1名